

平成30年度

事業報告書及び附属明細書

社会福祉法人中東福祉会

目 次

(事業報告書)

法人本部の事業概要	1
重点項目・地域交流報告	3

(附属明細書)

苦情・事故件数	18
事業所別年間利用者数及び稼働率	19
職員数の推移	20
職員有資格者数	21
職員研修参加数	22

事業報告書

法人本部の事業報告（事業概要）

年月日	事業名	概要
4月2日	辞令交付式	於. 第二いずみの里 新規採用職員18名
4月5日～6日	新人職員研修	於. 憩いのホール 16名
4月18日	中東福祉会役員等研修会 (法人中長期計画について)	於. マリエール
5月9日	管理者会議	於. 憩いのホール
5月11日、12日、15日	山田公認会計士による監査	於. 本部 山田公認会計士より監査報告書受理
5月16日～18日	法人監事決算監査	於. 法人内施設
5月24日	第3回理事会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 理事7名 監事2名 議題 定款の一部改正 事業報告 決算認定 運営規程の廃止、一部改正について 就業規則の一部改正について 中東福祉会中長期計画について 第2回評議員会開催について さくらの里駐車場拡張のための土地 及び建物の取得について
6月8日	第2回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員8名 理事2名 監事2名 議題 定款の一部改正 事業報告 決算認定 中東福祉会中長期計画について さくらの里駐車場拡張のための土地 及び建物の取得について
7月6日	正規職員採用・内部職員 特別採用一次試験	於. 五泉市福祉会館 受験者17名 (内訳 正規15名、特別採用2名)
7月19日、8月22日	正規職員採用二次試験	於. 本部 受験者15名 合格者15名
7月20日	若手リーダー研修	於. 憩いのホール 25名
7月26日	内部職員特別採用二次試験	於. 本部 受験者1名 合格者1名
8月21日	正規職員10月1日付中途採用試験	於. 本部 受験者3名 合格2名
9月7日	管理者会議	於. 憩いのホール
9月18日	高卒程度採用試験	於. 本部 受験者2名 合格者2名
10月4日	第4回理事会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 理事7名 監事2名 議題 理事長の職務執行状況報告について 苦情解決第三者委員の選任について 評議員候補者の評議員選任・解任委員会 への推薦について 定款の一部改正について 補正予算 運営規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 第3回評議員会開催について

年月日	事業名	概要
10月12日	第3回評議員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 評議員9名 理事2名 監事1名 議題 定款の一部改正について 補正予算
10月25日	第1回評議員選任・解任委員会	於. 帛の郷憩いのホール 出席者 選任・解任委員5名 議題 選任・解任委員会の委員長の互選について 評議員の選任について
10月31日	第2回正規職員採用試験	於. 本部 受験者3名 合格3名
12月13日	第5回理事会	於. 五泉市福祉会館3階大会議室 出席者 理事8名 監事2名 議題 運営規程の一部改正・制定について 経理規程の一部改正について 補正予算、第4回評議員会の 開催について
12月18日	パワハラ研修会①	於. 帛の郷憩いのホール 出席者：管理職、係長 計42名
12月21日	第4回評議員会	於. 五泉市福祉会館3階大会議室 出席者 評議員8名 理事2名 監事2名 議題 補正予算
平成31年1月4日	理事長年頭挨拶	於. 法人内各施設
2月5日	パワハラ研修会②	於. 帛の郷憩いのホール 出席者：主任、一般職員 計50名
2月21日	第3回正規職員採用試験	於. 本部 受験者1名 合格1名
2月22日	平成31年第1回理事会	於. 五泉市福祉会館3階大会議室 出席者 理事7名 監事2名 議題 定款の一部改正について 施設等の任免を含む人事異動
	新年度事業計画・予算説明会	於. 五泉市福祉会館3階大会議室 出席者 理事7名 監事2名
3月4日	管理者会議	於. 帛の郷憩いのホール
3月14日	第2回理事会	於. 五泉市福祉会館3階大会議室 出席者 理事 8名 監事 2名 議題 理事長の職務執行状況報告 運営規程の一部改正について 就業規則、給与規則、経理規程一部の改正 補正予算、新年度予算、事業方針 第1回評議員会の開催について
3月22日	第1回評議員会	於. 五泉市福祉会館3階大会議室 出席者 評議員 8名 理事2名 監事 1名 議題 定款の一部改正について 補正予算、新年度予算、事業方針
3月29日	退職者辞令交付式	於. 帛の郷憩いのホール

法人施設の事業報告（重点項目・地域交流）

障 害 福 祉 事 業 部		報 告	
計 画		課 題 等	
施設名 いずみの里	○重点項目		
	(1) 生活介護・日中一時支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個別の障害特性や意向、課題を把握して作成された個別支援計画に沿った質の高い生活支援を多職種協働により提供する。また、介護事故防止、感染症対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業スペースに利用者個々の作業道具が保管できるようにロッカーを導入し、より個別の支援が提供できるようになった。 ・日課を見直し、食事や入浴などリスキの高い時間帯により多くの職員を配置し、事故防止に努めた。
	(2) 施設入所支援・短期入所事業	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の重度高齢化や障害特性支援及び介護技術の習得に努め、より専門的な施設入所支援及び在宅利用者への短期入所サービスを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を具体的に記すことで、個別に充実した支援を提供する。
	(3) 居宅介護等事業（フレンド）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や社会資源と連携し、在宅利用者が地域で充実した生活が送れるよう居宅介護計画に基づいた生活支援及び介護サービスを提供する。また、福祉有償運送事業における安全運転教育を徹底し事故防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的支援が提供できるよう多職種協働によるチーム支援を実践する。
(4) 共同生活援助事業（陽だまり）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの意思を尊重し、地域の中で安心して自分らしい個性的な生活が送れるよう支援する。また、老朽化した住居については、関係者と協議を進め計画的な住み替え、建替えを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・阿賀町や阿賀野市など遠方の利用者にもサービスが提供できるよう業務改善を行う。 	
○地域交流・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・いずみの里・陽だまりともに日頃から地域の行事等に積極的に参加し、地域の一員として安心して暮らしていける体制を築く。同時に納涼祭、地域合同防災訓練等によって、地域住民との協働作業を通じて、災害時における相互協力体制を更に強いものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、地域住民と連携を取りながら、安全・安心な生活が送れるよう支援した。余暇では、地域のイベント等を活用し一人ひとりのニーズに対応した。 ・高齢重度化に対応できるよう、新陽だまりが開設し、利用者から好評を得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な住み替えを行う。 ・職員の働き方を改善する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が、各々の課題に応じた外部研修へ参加することで、事業所全体のレベルアップを図った。 ・より専門的なサービスが提供できるよう強度行動障害支援者養成研修に、延べ18人の職員を派遣した（現在援助員26名中22名履修）。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護計画に基づき関係機関と連携し、生活支援及び介護サービスを提供することができた。 ・増加する利用に対応しきれず、遠方の利用者に十分なサービスが行き届かなかかった。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齡重度化に伴い、地域行事への参加が年々難しくなってきた。 ・参加人数・滞在時間等を工夫し参加することができた。 ・地域住民と協働し、納涼祭を盛大に開催することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害避難指示や勧告時の対応を協議する。

施設名	計 画	報 告	課題等
自立就労センター ターイズみ	<p>○重点項目</p> <p>(1) 自立訓練（生活訓練）事業</p> <p>・日常生活の向上に向けた支援や社会適応訓練などを行う。知的障害の他に自閉症、発達障害など利用者の障害特性が多岐にわたり、個別のニーズと課題が多様の中、個人々の生活能力の維持・向上のために必要な個別支援計画に沿った支援プログラム の拡充と地域生活を営む上での「自立」に向けた支援に努める。</p>	<p>・個別支援計画に沿った支援を提供し、生活能力の向上を図った（当番活動の実施、マナー講座の開催、身体機能維持メニューの導入、趣味や興味を活かした創作活動、公共交通機関の利用体験等）。</p> <p>・自立訓練満了後（2年間）を見据え、次の進路に繋がりがやすくなるよう生活場面に対応した実習を提供した。</p>	<p>・関係機関と連携しながら、より実践的な支援を適用する。</p>
	<p>(2) 就労移行支援事業</p> <p>・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練や求職活動に関する支援を行う。また、企業見学や職場実習及びハローワークでの求人検索等を通じて就労意識を高め、職場開拓を積極的に行なうことと就労につなげていく。施設外就労の中で技術のスキルアップを図るとともに、「就労」を考えていく手掛かりのひととして工房・喫茶店業務を提供していく。</p>	<p>・就労に必要な知識及び能力向上に向けた訓練を実施した。</p> <p>・合同面接会への参加、ハローワークはじめ関係機関との連携等により、実践的に求職活動を支援した。</p> <p>・就労を目的とした企業実習を行った。</p> <p>・離職時に相談支援を実施し、リスクが最小限になるよう対応した。</p>	<p>・利用者数減少に伴い、次年度より事業を休止する。</p>
	<p>(3) 就労継続支援A型事業</p> <p>・法人との雇用関係に基づき、就労に必要な知識や能力の向上に向けた支援を行う。施設外就労や工房・喫茶店業務を提供する中で業務のスキルアップを図り、悩み事の相談を受けながら精神面の支援を継続することで「働きがい」が実感でき就労が継続できるように支援する。併せて、個人々の意思や能力に応じた職場開拓や求職活動を行う。</p>	<p>・施設外就労や工房業務、受託作業等を提供するなかで悩みごとの相談も受け、精神面の支援も併せて行った。</p> <p>・精神障害の方には勤務時間やシフトの調整を行った。知的障害の方には仕事や生活の中で生ずる困りごと等に対応を行った。</p>	<p>・利用者の高齢化や利用長期化に伴う就労意欲の低下を改善する。</p> <p>・新たな職場を開拓する。</p>
	<p>(4) 就労継続支援B型事業</p> <p>・生産活動などに係る知識及び能力の向上や維持に必要な支援を行う。多種多様な生産活動や受託作業を提供する中で利用者の潜在能力を引き出し、「働く喜び」を感じるよう作業種目や受託業務先の開拓を進める。清掃を中心とする施設外就労や喫茶店業務などにも、より多くの利用者が関わられるように対応する。</p>	<p>・施設外就労においては、少人数グループで対応し、利用者個々に配慮した支援に努めた。</p> <p>・新しい受託作業の開拓により、どの利用者も関わられる作業（分業）が提供できた。また、写真による視覚支援や補助具等を製作し正確な作業ができるよう支援した。</p> <p>・3月に一般就労1名、4月に法人内施設の清掃員1名、就職することできた。</p>	<p>・利用者の高齢化に伴う作業意欲の低下を改善する。</p> <p>・収益効率の高い生産活動を確保する。</p>

施設名	計 画	報 告	課題等
自立就労センター ターイズみ	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人会によるさつま芋苗植えボランティアの受け入れ、地域合同の納涼大会、地元町内会への加入や空缶回収等を実施し、地域住民とのふれあいを通じて、相互理解を深め、地域交流を図っていく。また、地域の方からのボランティアの申し入れは積極的に受け入れていく。防災については、定期的に避難訓練を実施し、利用者及び職員の安全確保に努める。また、関係機関への通報及び連絡体制を整備し、情報共有と連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつま芋の収穫量が減少したものの、9保育園延べ310名を受け入れ交流を図った。 ・納涼大会は、運営から開催まで地域の方と連携して行えた。 ・空缶回収や町内会行事への参加など、地域住民と交流する機会を設けた。 ・定期的な避難訓練を実施し、円滑かつ迅速な避難行動がとれるよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難対策について、近隣事業所や市町村との連携を強化する。
第二いづみの里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的生活能力の向上と健康の保持、体力の増進を図るために必要な支援を行い、高齢利用者への対策、身体的機能低下が危惧される利用者に対するリハビリ支援に努める。引き続き、障害特性の強い方の支援にも積極的に取り組んで行く。また、感染症予防対策と衛生管理体制の強化にも引き続き努める。 <p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所においては、個別支援計画に沿って利用者個々のニーズに応じた個別性のある質の高い支援を目指す。また、利用者が安心して過ごすができるように、一人ひとりに寄り添いながら、生活の場としての施設環境づくりを進める。 <p>(3) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の利用者、家族からのニーズ等を受け、五泉市からの委託相談支援事業、計画相談支援事業、県委託の地域相談支援事業等を活かしながら支援を行う。それにあたり、行政及び五泉市基幹相談支援センター他各関係機関との連携強化を図っていく。また、今年度より、相談事業の業務場所を市の中心部にあり、五泉中央サポーターズセンターに移転することにより、障害・高齢のワンストップ相談を含めた総合的な相談支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢福祉事業部より機能訓練指導員の協力を得て、歩行や座位の状態、食事姿勢を評価した上で、より専門的な支援を継続して提供した。 ・外部研修参加の他、園内研修を積極的に開催し、チームで統一の支援が行えるよう知識と技術向上に努めた。 ・感染症については、日常の予防対策に加え、嘔吐医との連携を密にした的確な指導を受けたことで早期に対応することができた。 ・個別支援計画を基に、一人ひとりのニーズに沿って個別課題の提供を行った。 ・生活しやすい環境づくりとして、居室の改修等必要に応じて行った。 ・市中心部の五泉中央サポーターズセンターに移転したことで、五泉市基幹相談支援センターをはじめとする関係機関との連携強化に繋がった。また、利用者も来所しやすくなった。 ・児童の支援機関も市内に増えていることから、障害児相談事業の利用者が徐々に増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の習得 ・障害特性の強い方への専門的な支援 ・感染症対応の定着 ・安心して過ごせる環境整備 ・稼働率の向上 ・高齢との相談連携については、まだ少なく、今後の課題である

施設名	計画	報告	課題等
第二いずみの里	<p>(4) 新潟圏域障害者地域生活支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 県からの委託を受け、新潟圏域内（五泉市、阿賀野市、阿賀町）の相談支援体制整備、療育支援体制整備等の拡充を圏域内各市町、相談事業所等とともに協議する。対応困難事例等の個々のケースに関しても、基幹相談支援センターや行政と協働して支援する。 	<p>圏域内の相談支援体制整備として圏域別研修の開催や市町の自立支援協議会の運営協力、基幹相談支援センターとの連携強化を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏域市町の相談支援専門員から依頼があった際には、個々のケースの支援を協働して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者地域生活支援センター事業の再編を見据えた活動のあり方
満日の里	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との交流行事に積極的に参加すると同時に、納涼祭等施設の行事にも協力・参加してもらうことにより、相互理解を深める。また、地域合同防災訓練を実施し災害時の協力体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域合同防災訓練を実際に即した形で行い意見交換したことで、実際の災害時の協力体制を確認することができた。 地域との交流行事に積極的に参加した。また、納涼祭を通じて地域の方々との相互理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害時の協力体制
満日の里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護・日中一時支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員が作成したサービス等利用計画を基本に、障害により支援や介護を必要とする利用者個別の意向・適性・障害の特性その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づいて多職種が連携して統一した支援を提供する。その為に強度行動障害に関する特性を理解した支援に努める。また、身体機能低下防止の為に、リハビリ支援の充実と感染症予防にも努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修にて個別支援計画作成について学び、理解を深めたことで、より個別支援計画の内容が具体的に統一した支援の提供につながった。 強度行動障害をより深く理解するために、研修に積極的に参加し、特性を理解した支援に努めた。 身体機能低下防止のため、園内歩行を積極的に取り入れ、またリハビリについても個別支援計画に基づき取り入れた。 感染症予防については予防・対策が不十分で、インフルエンザの蔓延につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日課の充実 感染症予防のための衛生面の強化
	<p>(2) 施設入所支援・短期入所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 入所支援については個別支援計画に沿って、利用者個々のニーズに応じた質の高い支援を目指す。また、短期入所は在宅障害者の生活継続と家族負担軽減のため関係機関と連携を図り、緊急対応にも可能な限り受け入れられるよう体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 短期入所については関係者と連携を図り、可能な限り緊急時の受け入れも行った。しかし、昨年度整備した短期入所棟については、安定した稼働には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 短期入所棟の有効活用の検討

施設名	計画		報告	課題等
満日の里	<p>(3) 相談支援事業(まんにち)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族と相談しながら将来を見据えたサービス等利用計画を作成し、必要な社会資源や関係機関等とのネットワークを活用した支援を行う。また、児童の計画相談をより良くする為、知識の習得や事業所・保育園・学校等の関係機関のネットワークの構築に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> 相談契約人数296人(者:238人、児:58人)の相談ケースに対し、サービス等利用計画の作成とモニタリングを実施した。 積極的に各種加算の取得に努めた。 週1回伝達会議を開催し、ケースの進捗状況の確認、制度や社会資源に関する情報の共有を図った。また、事業所内で事例検討会を開催し、相談支援の質の向上に努めた。 児童計画相談の質の向上のため、保育・教育・医療・その他事業所との連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談員のさらなる質の向上
	<p>(4) 居宅介護等事業(まんにち)</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害を持つ方が地域の中で暮らしを続けるために、居宅介護等計画に基づいて必要な社会資源や介護サービス等の提供を行う。その為に計画的に強度行動障害支援等の各種研修へ参加し、専門的な知識及び技術の習得を図る。また、福祉有償運送事業における職員の安全運転教育の徹底を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護計画に基づき、可能な限り利用者や家族のニーズに応えるためサービス提供を行った。 県外研修で実践発表及び意見交換を行うことで、居宅介護事業における現状と課題を理解するとともに、様々な知識や技術を習得できた。 福祉有償運送では、安全運転の意識を常に持ち、無事故・無違反に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の居宅介護事業の在り方(費用対効果の検証) 緊急連絡体制の確保
	<p>(5) 共同生活援助事業(なでしこ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域生活を希望する利用者のニーズに応え自分らしく安全快適な生活が出来るよう支援する。また、今年度は重度高齢化対応の「グループホームいろは」の安定的運営に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> 「グループホームいろは」に宿直を配置することで、夜間及び緊急時に迅速に対応することができた。また、休日においては、支援員を配置し各ホームを回ることなどで、個々に合わせた充実した余暇支援を提供することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の状態に適した生活の場の見直し
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事等による交流を積極的に推進し地域に開かれた施設を目指す。同時に地域との合同防災訓練を実施し災害時の応援連絡体制を構築する。 		<ul style="list-style-type: none"> 癒しの福祉ゾーン秋祭りを通じて近隣施設や地域住民との交流を図った。また、今年度は水害想定地域合同防災訓練を行い、近隣施設や地域住民との協力体制、緊急避難場所の確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 重度者のスムーズな避難誘導

施設名	計画	報告	課題等
さなせ家	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、生産活動の一層の充実と達成感の持てる活動内容の工夫に努める。また社会参加を目的とし外出の機会も取り入れていく。 <p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が誇りを持って働き、生きがいを持って地域生活が送れるよう支援に努める。また、施設外就業先を増やし工賃向上計画に則り工賃増に取り組む。また、就職に向けた体験や関係機関とのネットワークの構築に努める。 <p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市の委託によるII型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動など個々に適した活動の提供に努めるとともに「サンサンクラブ」等の活動を計画し積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図る。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市南公園や五泉駅周辺などの清掃活動をこれからも積極的に行う。施設利用者の通勤通園時の交通災害等に注意を促す。また避難訓練や消火訓練等も実施し利用者の安全に配慮する。 	<p>・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、生産活動の一層の充実と達成感の持てる活動内容の工夫に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加を目的とし小グループでの外出やさくらアリーナでの運動、親子外出も実施した。 <p>・利用者が働くことの誇りと生きがいを持って地域生活が送れるよう支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設外就業や受託作業の仕事の工賃は安定しているが、自主製品の売り上げは前年度に比べやや下回った。また、就職に向けた社会見学や公共交通機関の利用体験を実施した。 <p>・五泉市の委託によるII型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動などの提供に努めるとともに「サンサンクラブ」等の活動を計画し、積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図った。</p> <p>・五泉市南公園の清掃活動や五泉駅周辺道路等の環境美化活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所時における交通事故防止については、その都度朝礼や終礼を利用して交通安全を促した。 ・避難訓練を実施し災害時における利用者の安全確保に配慮した訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアの面積が狭い <p>・利用者の高齢化による作業能力の低下</p>
さくらの里	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、また社会参加を目的とし外出の機会も取り入れていく。 	<p>・日々の介護や訓練の継続・充実に加え、個々に応じた達成感の持てる個別活動や生産活動の提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣散策やさくらアリーナでのウォーキング・ランニングで機能維持・健康増進を図った。 ・毎月施設内外の行事を行い、楽しみながら季節を感じたり、社会参加を目的とした外出の機会を取り入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアが狭く、施設外での活動との調整が必要

施設名	計画	報告	課題等
さくらの里	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労に向けての技術や能力を見極め、就労継続支援B型支援計画書を作成し、個々の状況に応じた訓練等を行う。また工賃増を目標として取り組む。 <p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市の委託によるⅢ型事業として、創作活動・生産活動・地域における交流活動など個々に適した活動の提供に努め、各活動を協力して行うことにより社会参加及び社会復帰、自立の促進を図る。 	<p>・楽しく作業活動ができて環境作りに配慮しながら、個々の就労に向けた技術や能力の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業内容の見直しを行い、受託作業の調整をした施設外就労先を拡大した。自主製品作製と販売先の拡大、県社会就労センター経由の作業依頼の受諾等により、利用者の平均月額工賃を608円増額することができた。 <p>・五泉市の委託によるⅢ型事業として主には生産活動の提供に努めるとともに、終日かけての外出や、買い物・昼食会等の社会適応訓練の機会を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サンサンクラブ」等の活動を計画し、積極的に障害者の社会参加及び自立の促進を図った。 ・相談事業所経由の登録利用者も多く、就労継続支援B型への利用契約に繋がる方も増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃は年々増額しているが、県平均の6割程度の現状 ・限られた職員数の中で、有効な作業内容の組み立てと工夫 <p>・特性（個性）の強い方の利用に伴う、受入れスキルの向上</p>
あさひの家	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛宕小学校との交流会を引き続き実施する。施設利用者の通勤通園時の交通安全に注意を促す。また避難訓練や消火訓練等も実施し利用者の安全に配慮する。隣接地を購入し、駐車場の拡幅して、現在の公用車の駐車場を車椅子の利用者も安全に避難できるよう避難路として整備する。 <p>○重点項目</p> <p>(1) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五泉市からの委託相談、計画相談支援、地域相談支援と重層的な相談支援が可能な事業所の強みを活かした様々な相談に対応するとともに、OJT（職場内教育）による職員の資質向上をめざす。そして、個別相談から地域に共通する課題をみつけ、五泉市障害者総合支援協議会を通して「地域づくり」に反映させていく。また、高齢の障害者への支援に関する制度改正を見据え、相談支援専門員による介護支援専門員資格の取得推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛宕小学校2年生の生活科「町探検学習」に伴う、児童によるイタビと施設見学を受け入れた。 ・通勤通園時における交通事故防止については、その都度朝礼や終礼を利用して交通安全を促した。 ・駐車場の拡幅により避難路の確保ができた。 ・避難訓練や消火訓練等を実施し、災害時における利用者の安全確保に配慮した訓練を実施した。 <p>・五泉市からの委託相談支援は延べ2471件（関係機関との連絡調整含む）であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談支援は3月末時点で101名と契約中。 ・地域相談支援（地域定着支援）は1名/年に相談支援を提供した。 ・五泉市障害者総合支援協議会では運営会議、地域生活部会、就労部会、相談支援等連絡会、権利擁護連絡会に参加し、地域づくりに貢献している。 ・計画相談のプラン作成では、基幹相談支援センターからの助言を受け、より良いプランづくりに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉制度の理解と連携

施設名	計画	報告	課題等
あさひの家	<p>(2) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場が楽しく安全に、そしてより快適に過ごせる場となるよう環境作りを努める。また、開所13年目を迎える利用者の平均年齢も増え、単身生活者も増えてきている状況や年齢も増え、精神障害に関する啓発事業としてこここころの健康講座等の開催を継続し、家族支援として家族心理教室を開催と共催する。 	<p>・憩いの場延べ利用者数は4,035人、実人数103人。 ・各種活動延べ利用者数は1,156人、実人数80人。 ・利用者の年齢、生活状況を考慮した活動として、単身者を対象とした夕食会を年2回、個別の夕食を作る機会を提供として個別クッキングの行事を新設した。 ・こここころの健康講座は対象者として保護司にも声をかけ、地域の見守り役を増やす事業を行った。 ・統合失調症をもつ子の親を対象とした家族心理教室を、関係機関と共催した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康増進のために手軽に出来る運動の機会の提供
	<p>(3) 新潟圏域障害者生活支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県からの委託を受け、五泉市・阿賀野市・阿賀町における対応困難ケースへの助言及び地域のネットワーク構築に向けた広域的な支援を行う。また、地域の相談支援専門員との協働支援や勉強会を通して相談員の資質向上を目指す。更には、精神障害当事者による自身の経験を活かした活動を推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五泉市・阿賀野市・阿賀町の相談支援専門員の資質向上を目的として相談事業所を対象に各月で勉強会を開催した。 ・ピアサポート講座（全3回）を開催し延べ79名が受講。ピアサポートグループWarm's of Pieresの活動支援も継続した。 ・統合失調症の子を持つ親を対象にした家族心理教室を8回のコースで開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポート講座の継続開催 ・精神障害者の親対象の家族心理教室のフォローアップ（地活事業との連携）
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流イベント「なないろふえすた」の虹工房との共同開催を、利用者の主体性を尊重しながら継続する。また、各種活動においてボランティアと利用者との関係性がより深まるよう工夫や配慮を行う。防災に関しては、消防計画の通り年2回の避難訓練及び各種点検を実施する。特に避難訓練に関しては利用者が多い土曜日の実施を試みる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からのアイデアを得ながら、「なないろふえすた」を開催し、来場者は約280名であった。 ・虹の会、フリースペース村松のボランティアには引き続き行事へ協力いただき、新設の夕食会にも個別に声をかけ参加していただいた。 ・防災に関しては、避難訓練を6月と11月に実施した。計画のとおり、11月は利用者の多い土曜日に実施し、11名の参加があった。 	<p>行事等ボランティアがより参加しやすい工夫</p>
虹工房	<p>○重点項目</p> <p>(1) 就労移行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労に必要な技術や能力を見極め、就労移行支援計画書に沿って個々の状況に応じた支援を行い、ハローワーク等関係機関との連携のもと、利用者の特性や希望に合った就労へつなげる。合わせて市内外の学校や相談機関等との連携を強め稼働率向上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労ミーティングにて就労に必要な訓練を実施した。 ・ハローワーク等関係機関との連携のもと、企業見学や合同面接会への参加など就労支援を実施した。 ・支援計画書に沿って定期的に面談を実施した。 ・2月にトライアル雇用で1名採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携の強化 ・就労移行支援期間（2年）内の企業への就職

施設名	計 画		報 告	課題等
虹工房	<p>(2) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の能力をのばして目標が達成できるよう、就労継続支援B型支援計画書に沿った施設内外の作業の提供及び就労に向けた訓練を行う。また、工賃増を目標に受託作業及び自主製品作成・販売の強化に取組む。合わせて、地域ニーズに因應するため昨年度17名に増員した定員枠を最大限活用できるよう、学校や相談機関等との連携を強化する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の能力に合った施設内外の作業の提供や、知識及び能力向上に向け訓練を実施した。 ・ 安定した通所を目標に生活面、精神面での助言や、就労継続支援B型ミーティングを実施し意欲の向上を図った。 ・ 企業見学や合同面接会、ハローワーク主催のジョブガイダンスに参加するなど就労支援を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との連携による利用者の確保 ・ 利用者の高齢化に伴う作業能力の低下
	<p>(3) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産活動、創作的活動、ボランティアとの交流活動、余暇活動等の日中活動を提供しながら、若年者から高齢者まで幅広い利用者の個々のニーズに応じた支援を実施していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産活動、創作活動を通し、就労継続支援B型への移行など個々のニーズに応じた支援を実施した。 ・ 高齢化に伴い、生産活動の工夫や環境改善を実施し、安全に安心して通所できるよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の高齢化による作業能力の低下と環境改善
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流イベント「なないろふえすた」のあさひの家との共同開催を、利用者の主体性を尊重しながら継続する。また、各種活動において精神保健福祉ボランティアグループ虹の会と利用者との関係性がより深まるよう工夫や配慮を行う。防災に関しては、消防計画の通り年2回の避難訓練及び各種点検を実施する。特に避難訓練に関しては近隣住民や事業所にも協力を仰ぎ、非常時に備える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ あさひの家との協同開催の「なないろふえすた」を虹の会の協力のもと、盛大に執り行うことができた。また「なないろふえすた」を通じ地域の方々との交流も深めることができた。 ・ 月1回「茶話会」や余暇活動、外出、行事など虹の会の方々にも気軽に参加出来るよう企画した。 ・ 避難訓練や消火活動等を近隣住民の協力のもと実施した。またマニキュアの再確認、見直しを行った。 	
たんぼぼ	<p>○重点項目</p> <p>(1) 生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴といった日常生活能力の維持と健康の保持に必要な支援を行う。また、施設内および施設外行事を通して共同生活や社会参加に必要なまぎまぎの習慣化に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体機能の低下を防ぐためにレクリエーションを施設内、外で実施した。 ・ リハビリテーションを兼ねた創作活動を実施。作品は前年対比で33%増を売り上げ、工賃として支給した。 	

施設名	計 画	報 告	課題等
たんぼぼ	<p>(2) 就労移行支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 求められる知識や技能の習得及び向上に必要な訓練を行うと同時に求職活動を支援する。また法人内施設と連携し、企業訪問や見学を行い就労意欲の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 2名の利用者が、飲食店及び地方公共団体に就職することができた。 履歴書などの記入方法や模擬面接を行う一方、就労に対する意欲を高めるために職場見学会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 専任職員の確保
	<p>(3) 就労継続支援B型事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の潜在能力を引き出すため多種多様な生産活動を提供し、地域において自立した日常生活や社会生活ができるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月に施設外業務を新たに受託。作業を通して、就労に必要な知識と能力の向上に努めた。 	
	<p>(4) 相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者として家族のニーズを的確に把握し、身近な保健、医療、福祉サービスを活用し、総合的なサービスの提供に努める。また、これまで解決できなかったことや支援に至るまでに時間を要したことについては、地域の課題としてとらえ、阿賀町自立支援協議会や新潟圏域地域生活支援センターなどと協議を重ね、個人の尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことができればよい支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月末現在の相談契約人数は80人(者)70人、児10人)でサービス等利用計画の作成とモニタリングを行った。 介護保険への移行や就職により12名(者)の計画相談が終了となった。 	
	<p>(5) 地域活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿賀町の委託事業として働くことが困難な障害者が集う場として、創作または生産活動を提供するとともに仲間づくりのための支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 開設から8年が経過したが施設の認知が弱いことから事業所のパンフレットを作成し、民生委員・児童委員に配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事予定の周知方法と交通手段の確保
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者基本法がめざす「地域社会における共生」をさらに推進するため、地域の皆さまにふれあいの場を提供し、障害者に対する理解を深めるとともに心のバリアフリーを進める。地域の一人として、事業所及びその周囲に設置された防災設備が機能するよう日々除草や除排雪を行い環境の整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年9月に近隣住民とのふれあいと交流を目的に始まった「イエローフェスタ」は初秋の行事として定着した。 施設周辺は高齢者世帯が多く、業務以外の支援が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災など有事の際の支援を円滑に行うための訓練

高 齢 福 祉 事 業 部 報 告		課 題 等	
施設名	計 画		
菅名の里・ま おろしの郷	○重点項目 (1) 特別養護老人ホーム事業 ・利用者・家族ニーズの高い多床室のなかで、終の棲家として入居者個別の暮らしを提供でき、よう、ひとり一人の意思や希望を尊重する「心に寄り添う介護」の充実を図り、自分らしい普通の暮らしが実感できる居心地の良いサービスをグループケアが実現し、個々の活用しながら提供する。介護の基本に立ち返り、個々の援助方法、生活環境の見直しを図り介護事故がなくなることにより安全で安心が得られる介護サービスの提供に努める。	・ 菅名の里ではサービス提供体制を2グループ制から3グループ制に変更し個別ケアの向上を図られた。大きな介護事故は見られなかったが、冬期間にインフルエンザの集団感染が発生し対応に追われた。「安全と安心」が得られる介護サービスについては課題が残った。 ・ まおろしの郷では安定した活動が実践できた。徐々に看取りケア機会も増え柔軟に対応できた。介護事故の撲滅への取り組みが次年度の課題である。	・ 感染症対策の徹底、介護事故防止
	(2) 短期入所、障害短期入所事業 ・ 認知症や中重度の利用者を積極的に受け入れられるとともに、利用者個々の生活状況、身体機能、自宅環境、希望等に合わせた個別機能訓練により、生きがいを持って自立した在宅生活が継続できるよう支援する。	・ 短期入所のスペースを変更することで職員全体でケアする意識が高まった。短期入所の利用ニーズには柔軟に対応したものの、インフルエンザ対応における冬期間の受け入れの難しさを痛感した。	・ 感染症対策の徹底、介護事故防止
	(3) 通所介護事業 ・ 認知症や中重度の利用者を積極的に受け入れられるとともに、利用者個々の生活状況、身体機能、自宅環境、希望等に合わせた個別機能訓練により、生きがいを持って自立した在宅生活が継続できるよう支援する。	・ 活動メニューに「褒める」「認める」「励ます」のテーマを持たせたことで余暇活動が活性化した。利用者が自主的かつ意欲的に取り組む姿が見られるようになった。	・ 活動の「継続」と稼働率向上につながる「工夫」
	(4) 在宅介護支援センター事業 ・ 在宅高齢者もしくは要援助となるおそれのある高齢者とその家族からの相談に応じ、各種保健、福祉サービスが受けられるよう市の関係機関と連絡調整し、地域の高齢者福祉の向上を目指す。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、生活支援コーディネーターとして生活支援サービスの基盤整備に努める。	・ 市からの委託事業は概ね計画通り実施できた。各種予防教室、啓発活動、地域の実態把握も積極的に行うことができた。 ・ 法人内の協力体制、関係機関との連携も十分に実施できた。	・ 行政との情報交換

施設名	計画	報告	課題等
菅名の里・まおろしの郷	<p>(5) 居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の自立支援型ケアマネジメントを推進する。通所介護、短期入所との連携による、きめ細やかなサービスの提供を行い、地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事・地域活動への積極的な参加と協力を進め、馬下地区福祉のまちづくり運動推進委員会及びまおろしの郷運営推進委員との連携を図り、地域との結びつきを強化する。防災体制においては定期的にマニユアル等の見直しを行い、地域住民との連携、協力を図りながら災害に備える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難ケース、緊急ケース等の対応にも積極的に取り組んだ。併設する通所介護、短期入所及び関係機関との連携や情報共有で速やかかつ適切に課題解決に結びつけることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・馬下地区福祉のまちづくり運動推進会議やまおろしの郷運営推進会議を中心に防災協力体制や四季の行事等で積極的な交流を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係医療機関との連携、情報共有
五泉中央デイサービスセンター 五泉中央サポーターセンター	<p>○重点項目</p> <p>(1) 通所介護・認知症対応型通所介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護計画や個別機能訓練計画に基づき、利用者個々の状況に合わせた生活リハビリ、身体的リハビリ及び認知症予防を意識した脳活性プログラム等をバランスよく働きかけ、機能維持・向上・在宅生活の継続を支援する。介護者支援として介護者とのコミュニケーションを深め、有効な情報提供を行なうとともに介護者のニーズにあわせ長時間利用を引き続き推進する。老朽化した送迎車の入れ替えを行い、安全運転の意識向上と業務の効率化に努める。 <p>(2) 在宅介護支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域の中で生きがいのある充実した生活を送られるよう、地域の高齢者に対して健康づくりや介護予防に対して啓発活動を積極的に実施する。介護予防、認知症予防に関する各種教室を開催するとともに、行政・民生委員、居宅介護支援事業所等と連携強化を図り、「地域包括支援センター」のプランチ機能とともに地域の総合的な相談窓口として機能強化を図る。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、生活支援コーディネーターとして生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合わせたリハビリと、認知症予防を意識した活動を通して、在宅生活継続のための支援を行った。 ・認知症対応型では、重度化に伴う入所や入院で利用中止される方が多く、昨年より大幅に利用者が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型を廃止し一般型通所介護一本として利便性を高める ・老朽化した送迎車の入れ替え
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、認知症予防、運動機能向上に関する各種教室など啓発活動を行い、自治会、民生委員・児童委員、行政とも連携し、自主活動グループの立ち上げ、継続のための支援も行った。 ・要援護者、要援護となるおそれのある高齢者となった方を中心に家庭訪問し、実態把握、ニーズ評価を行い、必要に応じてサービス調整等を行った。 		

施設名	計画	報告	課題等
五泉中央デイサービスセンター 五泉中央サポーターセンター	<p>(3) 居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識とアセスメント、自立支援型ケアマネジメントの向上に努め、利用者本人の自立支援、短期入所との連携による、きめ細やかなサービス調整を行い、地域、関係機関、専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。障害者相談支援事業と連携して、利用者のワンストップ相談、総合的な相談支援の充実を図る。 <p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 立地条件の良さを活かして、地域ボランティア（慰問）の積極的な受け入れ及び学校関係の就業体験等には施設機能を広く開放する。近隣の小学校や保育園との交流を行い、利用者「残存能力」「生きがい」も引き出す。災害時において、利用者をはじめとする人命の確保、事業所への被害の防止及び軽減を図るため、職員の役割分担や連絡体制、利用者の安全確保対策を定めるとともに、年2回以上の避難訓練を実施する。 	<p>困難ケースにも積極的に対応し、関係機関と連携して在宅生活継続の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害相談事業がサポーターセンター内になり、継続ケースの情報共有や相談がスムーズにできた。 <p>・ボランティアや保育園の慰問、学校の職場体験、介護実習生の受け入れを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災、水害想定避難訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害相談支援事業との連携
うずらはし	<p>○重点項目</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアを中心とした生活単位を基本に、季節の移り変わりを感じる行事や食事の提供をする。そして潤いのあるゆつたりとした日常生活の流れと家庭的な雰囲気大切にして、入居者それぞれの個性や生活リズムに沿った生活が送れるよう支援する。そのため、職員がユニット専任配置、入居者のこれまでの暮らしの継続とその人らしさを保障する。「いつか必ず来るその時」までの悔いの残らない「看取り」を本人や家族と一緒に考えて納得のいく「看取り」を実践し、身内を安心して託せる施設づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニットごとに入居者の誕生日を家族と一緒に祝い、入居者の想いを聞き取った外出や園内活動を増やすことで、個別ケアの充実を図ることができた。 反面、全体としての接遇・安全なケアへの取り組みの徹底が図れず、行政報告を要する介護事故が増加した。 退所者のうち、施設での看取りは4名。長期入院のまま退所となる入居者が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護事故ゼロへの取り組み 日々のケアを大事にしたい中での看取り介護の充実 感染症対策 老朽化した設備への対応

施設名	計画	報告	課題等
うずらはし	<p>(2) 通所介護・認知症対応型通所介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 通所介護計画や個別機能訓練計画に沿った介護サービスが多職種が連携して提供し、脳活性プログラムを有効的に活用した認知症ケアに積極的に取り組むことで、進行予防を図る。また、利用者のこれまでの生活経験を生かした園芸や調理、地域の伝統行事などを活動に取り入れることで、意欲を持って自主的に取り組める「生きがい」を持ち、楽しみながら生活機能の向上（自信の回復）を図れるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職を配置し多職種が協力することで個別機能訓練の充実が図れた。 ケアマネと連携し、個別対応が必要な困難の方の個別対応極的に受け入れることができた。認知症の方の個別対応に関して、「その人を思ったケア」を心掛けた。 インフルエンザ罹患者が増え、通所事業の感染症対策の難しさを実感した年でもあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの充実と市内唯一の認知症対応型デイサービス事業の稼働向上 感染症対策
	<p>(3) 在宅介護支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 住み慣れた地域の中で生きがいのある充実した生活を送られるように、健康づくりや介護予防に対し啓発活動を行うとともに、転倒予防、認知症予防等の各種教室を開催する。さらに、市の関係機関や民生委員、居宅介護支援事業所と連絡調整し、各種保健・福祉サービスが受けられるよう支援すること、地域の高齢者福祉の向上を目指す。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、生活支援コーディネーターとして生活支援サービスの基盤整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種予防教室の開催、お茶の間サロンへ出向いての啓発活動など予定通りに実施できた。 関係機関と連携し、地域の高齢者の実態把握と悪化予防を図り、また地域座談会へ参加することで、生活支援コーディネーターとして地域づくりに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政との情報交換
	<p>(4) 居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識とアセスメント、プランニング能力の向上に努め、利用者本位の質の高い自立支援型ケアマネジメントを推進する。公正中立を確保し、地域・関係機関・専門職等とのネットワークによる地域ケアを推進するとともに、医療との連携をさらに強化することで、地域包括ケアシステム構築の中心的役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> 主任介護支援専門員が3人となり、より質の高いケアマネジメントが提供でき、困難ケースの積極的な受け入れを行った。終末期や認知症の進行で対応が難しいケースでもデイサービスと連携し対応できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携強化で終末期利用者の在宅支援 法人内事業所との協力体制の継続
	<p>○地域交流・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域行事・地域活動への積極的な参加と協力をを行うとともに、認知症対応型通所介護に係る運営推進会議を設け、地域との結びつきと連携、運営の透明性を強化する。また、毎月の避難訓練の実施や、年1回の地域合同防災訓練を地元の協力を得て行うことで、災害時の住民協力体制整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症対応型通所介護において運営推進会議を年2回開催、またその役員と協力して、夜間に地域合同防災訓練を実施し、地域の協力体制整備を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元神社祭礼への積極的参加 地域を巻き込んだ防災体制の強化

施設名	計 画	報 告	課題等
梟の郷	<p>○重点項目</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム事業</p> <p>・ユニットの特徴を最大限活かし、職員の専任配置、基本介護のユニット内完結などで家庭的で温かみのある介護サービスを提供する。個別支援計画及び24時間シートに基づき、多職種協働で入居者の「自立」と「自律」を支援する。立地条件を活かし入居者の生活が積極的にならないよう、季節行事、地域行事等に積極的に参加し地域交流を図る。看取り介護について、入居者の今ままで歩んできた人生を大切に、職員がチームで入居者、家族に寄り添い、共に悩み考え、「旅立ち」の時までサポートしていく。</p> <p>○地域交流・防災</p> <p>・近隣小学校等との交流や地域行事へ積極的に参加、協力する。ボランティアや慰問の受け入れ、施設主催の「感謝祭」や「秋季祭礼交流」等で入居者に閉塞感を感じさせないよう努める。また、「憩いのホール」の地域開放や地域住民向けの「健康講座」の開催など地域貢献事業にも継続的に取り組む。日頃の避難訓練や消火訓練の継続、そして、地域消防団や地域住民の協力を得ながらの総合的な防災体制の構築を目指す。</p>	<p>・入居者の心身の状況、生活習慣、暮らしの意向等を踏まえ、その人らしく生活できるような支援を心がけた。入居者の趣味や希望を考慮して「入居者の希望を叶える企画」を継続し、レク、行事等への参加を通して楽しんでいただいた。</p> <p>・嘱託医師との連携のもと、チームでの看取り介護を行いその人らしい最期を迎えられるよう支援を行った。開設から5年経過し、看取りを迎える入居者が増加傾向にある（昨年度は6名の看取りを行った）。</p> <p>・入居者の入院等で空床の際には、居宅ケアマネと連携し、短期入所の受け入れを行った。</p>	<p>・各ユニットの特色を生かした個別ケア、看取り介護の充実</p>
		<p>・「秋季祭礼受入」や「感謝祭」で地域住民の方が多く来場され、入居者との交流を行った。また、春に地域住民向けの健康講座を開催し、憩いのホールも地域住民向けに活用を図った。</p> <p>・運営推進委員会を年6回開催し、運営推進委員会を中心とする地域住民との合同避難訓練を実施した。</p>	<p>・地域交流の継続、防災における地域との連携・強化</p>

附 属 明 細 書

苦情・事故件数（県・市町村へ報告した事案）

施設名	苦情合計	事故の種別				事故合計	
		負傷等（骨折、打撲、裂傷等）	誤飲・誤薬	無断外出・徘徊等	その他		
障害福祉事業部	いずみの里	0	2	1	0	1	4
	陽だまり	0	0	7	0	0	7
	自立就労センターいずみ	0	0	3	0	0	3
	第二いずみの里	0	8	2	0	0	10
	満日の里	2	2	3	1	1	7
	なでしこ	0	0	1	1	0	2
	きなせ家	0	0	0	0	0	0
	さくらの里	0	0	0	0	1	1
	あさひの家	0	0	0	0	0	0
	虹工房	0	0	0	0	0	0
	たんぼぼ	1	1	0	0	0	1
高齢福祉事業部	菅名の里	0	4	5	0	0	9
	まおろしの郷	0	6	4	0	1	11
	五泉中央デイサービスセンター	0	2	1	0	0	3
	うずらはし	0	12	5	1	0	18
	帛の郷	0	2	5	0	0	7
合計	3(0)	39(18)	37(24)	3(0)	4(0)	83(42)	

※負傷等の報告対象事故…（障害）治療に相当期間（1週間以上）を要する場合
（高齢）医療機関への受診を要した場合

*括弧内は平成29年度の合計数

事業所別年間利用者数・稼働率

	施設名	事業名	平成30年度 3月末 現在定員	年間 営業日	平成29年度		平成30年度		前年比 (利用者数) ③-①	前年比 (稼働率) ④÷②
					利用者 数 ①	稼働率 ②	利用者 数 ③	稼働率 ④		
障 害 福 祉 事 業 部	いずみの里	施設入所支援	40	365	14,246	97	13,996	96	-250	98.3%
		生活介護	40	365	11,756	80	11,343	78	-413	96.5%
		短期入所（併設）	5	365	1,780	97	1,923	105	143	108.0%
	陽だまり	共同生活援助	43	365	16,037	98	15,214	93	-823	94.9%
	自立就労セン ターいずみ	自立訓練(生活訓練)	10	241	1,702	71	1,308	54	-394	76.5%
		就労移行支援	6	241	1,164	80	724	50	-440	62.2%
		就労継続支援A型	6	241	1,182	82	1,099	76	-83	93.1%
		就労継続支援B型	28	241	6,483	95	7,384	109	901	114.3%
	第二いずみの里	施設入所支援	50	365	18,097	99	17,265	95	-832	95.6%
		生活介護	55	365	13,903	69	13,369	67	-534	96.5%
		短期入所（併設）	5	365	954	52	826	45	-128	87.1%
	満日の里	施設入所支援	50	365	18,050	99	18,119	99	69	100.3%
		生活介護	60	365	15,303	70	14,763	67	-540	96.3%
		短期入所（併設）	10	365	1,610	66	1,896	67	286	102.1%
	なでしこ	共同生活援助	20	365	6,128	98	6,913	95	785	96.5%
	きなせ家	生活介護	15	306	4,646	101	4,971	109	325	107.9%
		就労継続支援B型	22	241	5,424	102	5,345	101	-79	98.8%
	さくらの里	生活介護	10	253	1,968	78	2,357	93	389	119.8%
		就労継続支援B型	20	241	4,851	101	4,853	101	2	99.7%
	虹工房	就労移行支援	3	244	362	48	588	79	226	164.6%
就労継続支援B型		17	244	3,734	88	4,242	101	508	114.8%	
たんぼぼ	生活介護	6	242	1,254	115	1,296	90	42	78.3%	
	就労移行支援	6	242	0	0	581	40	581		
	就労継続支援B型	20	242	4,943	103	4,873	102	-70	99.0%	
高 齢 福 祉 事 業 部	菅名の里	介護老人福祉施設	80	365	28,902	99	28,493	98	-409	98.6%
		短期入所生活介護	20	365	6,839	94	6,320	87	-519	92.1%
		通所介護	34	365	11,418	92	10,995	89	-423	96.3%
	まおろしの郷	介護老人福祉施設	28	365	9,901	97	9,941	97	40	100.3%
		短期入所生活介護	14	365	4,855	95	4,790	94	-65	98.6%
	五泉中央デイサー ビスセンター	通所介護	45	365	15,309	93	15,458	94	149	101.1%
		認知症型通所介護	12	365	3,506	80	2,789	64	-717	80.0%
	うずらはし	介護老人福祉施設	60	365	21,467	98	21,300	97	-167	99.2%
		通所介護	30	365	10,101	92	9,883	90	-218	98.2%
認知症型通所介護		12	365	3,719	85	3,438	79	-281	92.4%	
帛の郷	介護老人福祉施設	29	365	10,470	99	10,295	97	-175	98.0%	

職員数の推移

(4月1日現在在籍数)

所属		区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	
法人本部		正規	4	4	4	4	4	
		嘱託・準	1	1	2	1	2	
		その他						
法人本部計			5	5	6	5	6	
障害福祉事業部	いずみの里 (グループホーム含む)	正規	34	32	33	39	35	
		嘱託・準	17	15	15	11	11	
		その他	23	18	18	17	14	
	いずみの里計			74	65	66	67	60
	自立就労センターいずみ	正規	6	8	7	6	4	
		嘱託・準	10	9	10	12	14	
		その他	5	7	8	8	8	
	いずみ計			21	24	25	26	26
	第二いずみの里	正規	22	26	30	33	29	
		嘱託・準	13	11	7	6	5	
		その他	10	10	8	5	6	
	第二いずみの里計			45	47	45	44	40
	満日の里 (グループホーム含む)	正規	35	39	38	42	43	
		嘱託・準	19	18	15	13	10	
		その他	23	24	24	25	19	
	満日の里計			77	81	77	80	72
	きなせ家	正規	8	7	9	8	8	
		嘱託・準	10	11	8	10	10	
		その他	4	4	3	2	1	
	きなせ家計			22	22	20	20	19
	さくらの里	正規	2	3	6	5	6	
		嘱託・準	3	2	7	6	5	
		その他	3	3	2	4	3	
	さくらの里計			8	8	15	15	14
	あさひの家	正規	9	8	7	7	5	
		嘱託・準						
		その他	1	1	1	1	1	
あさひの家計			10	9	8	8	6	
虹工房	正規	3	3	4	3	4		
	嘱託・準	3	3	3	4	6		
	その他	3	3	3	2	1		
虹工房計			9	9	10	9	11	
たんぼぼ	正規	7	5	6	6	6		
	嘱託・準	6	6	5	5	6		
	その他	4	6	8	9	8		
たんぼぼ計			17	17	19	20	20	
高齢福祉事業部	菅名の里	正規	46	52	50	55	58	
		嘱託・準	26	22	22	20	15	
		その他	21	25	24	28	25	
	菅名の里計			93	99	96	103	98
	まおろしの郷	正規	18	16	18	18	20	
		嘱託・準	8	7	7	4	3	
		その他	7	7	3	6	7	
	まおろしの郷計			33	30	28	28	30
	五泉中央デイサービスセンター	正規	23	20	21	19	19	
		嘱託・準	9	9	9	10	10	
		その他	11	11	13	13	14	
	五泉中央デイ計			43	40	43	42	43
	五泉中央サポートセンター (基幹・包括出向含む)	正規	13	12	12	11	18	
		嘱託・準			1		1	
		その他						
	五泉中央サボ計			13	12	13	11	19
	うずらはし	正規	52	46	47	52	49	
		嘱託・準	21	20	19	16	16	
		その他	8	8	5	5	9	
	うずらはし計			81	74	71	73	74
	帛の郷	正規	14	12	12	16	16	
		嘱託・準	8	12	12	8	7	
		その他	2	3	4	5	6	
	帛の郷計			24	27	28	29	29
	全体	正規	296	293	304	324	324	
		嘱託・準	154	146	142	126	121	
		その他	125	130	124	132	122	
全体計			575	569	570	582	567	

職員有資格者数（延べ人数）

平成31年3月31日現在

所属		社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	介護支援専門員	社会福祉主事	保育士	喀痰吸引
法人本部		0	0	0	1	3	0	0
障害福祉事業部	いずみの里（グループホーム・基幹出向含む）	7	15	3	4	19	6	10
	自立就労センターいずみ	1	3	0	2	7	1	1
	第二いずみの里	7	13	2	2	13	6	8
	満日の里（グループホーム含む）	15	24	4	4	25	9	8
	きなせ家	2	4	1	1	6	3	1
	さくらの里	1	3	0	1	4	3	0
	あさひの家	6	1	1	1	2	1	0
	虹工房	2	1	1	0	3	0	0
	たんぽぽ	1	7	1	0	6	0	1
高齢福祉事業部	菅名の里	5	48	0	10	29	2	42
	まおろしの郷	1	15	1	4	5	0	15
	五泉中央デイサービスセンター	5	15	2	4	12	1	5
	五泉中央サポートセンター（包括出向含む）	9	9	1	11	13	4	1
	うずらはし	8	40	2	15	17	3	37
	帛の郷	1	15	1	4	9	0	13
合計		71(61)	213(212)	20(19)	64(62)	173(178)	39(43)	142(132)

※括弧内は平成29年度の合計数

職員研修（外部・内部）参加者延べ人数

所属	合計		平成30年 4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		平成31年 1月		2月		3月		
	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	外部	内部	
法人本部	4	12	0	2	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	4	0	1
いづみの里（グループホーム含む）	110	197	3	8	4	13	19	33	11	25	21	0	11	37	26	6	10	40	1	27	0	0	3	8	1	0	
自立就労センターいづみ	24	77	1	0	1	0	2	0	5	18	2	0	3	0	2	0	1	40	1	4	5	0	0	1	1	14	
第二いづみの里	126	512	0	2	2	33	17	18	16	54	14	0	3	34	27	124	25	97	14	44	4	38	4	14	0	54	
満日の里（グループホーム含む）	108	256	0	6	0	0	18	0	9	34	8	0	18	21	4	50	30	58	10	71	5	0	2	4	4	12	
きなせ家	18	46	1	0	1	0	4	0	1	0	3	0	2	0	1	0	3	22	2	18	0	0	0	0	6	0	
さくらの里	43	44	0	1	1	0	5	0	4	0	4	0	3	0	9	2	16	6	0	31	0	0	0	4	1	0	
あさひの家	47	57	0	0	3	0	7	6	6	5	2	4	6	0	5	7	9	15	2	0	1	7	2	7	4	6	
虹工房	24	84	0	0	4	0	5	16	6	4	1	8	0	0	4	17	1	15	3	8	0	6	0	10	0	0	
たんぼぼ	30	6	0	0	3	0	3	1	0	0	0	0	3	1	3	0	5	1	7	1	4	1	1	1	1	0	
菅名の里	138	666	4	20	15	43	15	32	13	146	10	29	24	71	21	61	13	104	16	106	3	3	1	48	3	3	
まおろしの郷	24	254	0	9	3	19	5	40	1	22	4	23	4	27	1	41	5	37	0	13	1	0	0	23	0	0	
五泉中央デイサービスセンター	42	264	0	15	2	15	5	24	10	27	9	21	8	20	5	27	3	40	0	12	0	0	0	25	0	38	
五泉中央サポートセンター	69		0	0	4	5	5	12	12	16	6	6	16	16	13	13	7	7	5	5	1	1	0	0	0	0	
うずらはし	123	496	0	61	4	35	16	26	19	51	10	24	19	34	18	73	20	29	14	8	1	26	0	57	2	72	
島の郷	27	156	0	0	1	14	4	14	9	11	1	9	1	26	2	23	3	16	5	14	0	8	0	1	1	20	
合計	953	3,115	9	124	49	172	131	210	122	399	95	118	121	271	141	431	151	520	80	360	25	89	15	213	18	220	